

12月は乾燥した気候が続くため、火災のリスクが高まる季節です。特に暖房器具の使用が増えるこの時期、火災の発生を防ぐための注意が必要です。火災による被害を最小限に抑えるためには、日常的な防火対策や避難経路の確認が重要です。今回は、火災予防のポイントと、万が一の際に役立つ情報をお届けします



119



火災警報器は設置されていますか？

4つの習慣



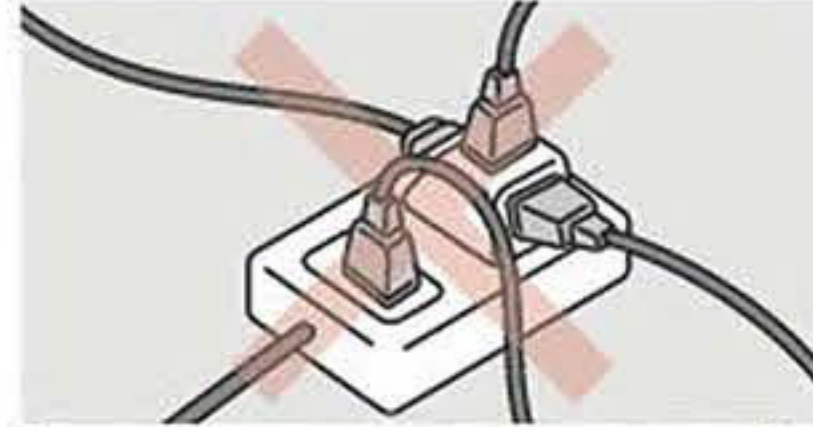
①寝たばこは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに「燃えやすいものを置かない



③コンロを使うときは火のそばを離れない



④コンセントはほこりを掃除し、不要なプラグは抜く
引用元：上益城消防組合消防本部

火災の対策

火災を防ぐ

ストーブやコンロ等は使用方法を守り周りに燃えやすいものを置かない

火災の早期発見

住宅用火災警報器を定期的に点検し10年を目安に交換する

火災の拡大を防ぐ

部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する

火災を小さいうちに消す

消火器等を設置し使い方を確認する

放火を防ぐ

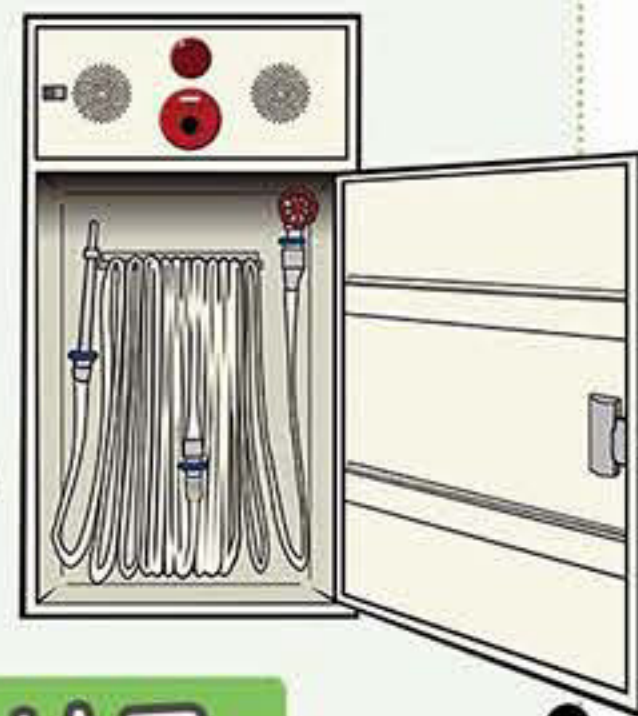
家の周りに燃えやすいものを置かない

避難経路と避難方法を確保する

出火したら

このタイプの消火栓は誰でも使用できます

非常事態を周りに知らせる



119に連絡

周りに知らせる

もしもし



〇〇町の30-13台所で火事が発生



火事だ~!!



火事だ~!!



消火作業

ホースを持つ

電気機器や油からの出火の際は水を使わない



初期消火の目安

- 出火から2~3分以内がカギ
- 2~3Mの火の高さまで

災害用伝言サービス 録音時間：30秒（10件まで）（「NTT東日本災害への取り組み」より）

伝言ダイヤル 171	171をおし、録音は「1」、再生は「2」、音声ガイドに従い予めお互いで決めた電話番号を入力すると、伝言の録音・再生ができます。
災害用伝言板 (web171)	ネットでweb171にアクセスし、予めお互いで決めた電話番号と伝言を入力します。この電話番号全国（国内外）から伝言の確認や追加をすることができます。また、伝言ダイヤル171に登録されたメッセージを確認することもできます。
171 体験利用提供日	毎月1日と15日（00時00分~24時00分）、正月3が日（00時00分~24時00分） 防災週間（00時00分~24時00分）、 防災とボランティア週間（1月15日9時00分~1月21日17時00分）

【土屋防災委員会】の

をフォロー
お願いします！
エックス



アカウント登録をして、防災に関する様々な情報をGET!!



土屋防災ニュース

2025.1 Vol.2

Writer : Yumiko Komoto
Kaori Hara



近年、首都圏でも大雪が降ることが増え、雪の予報が出ると各交通機関で早めの帰宅を促されることも多くなりました。降雪量を問わず様々な事故にもつながります。

雪害（大雪）の被害を防ぎましょう！

急斜面での雪崩発生に注意（土砂災害と同様に警戒）

雪道は「**小さな歩幅**で靴の裏全体をつけて歩く」と転倒しにくくなります。

積もっていなくても道が凍っていることがあります。外出しなければならない場合は、屋根の下を通るのを避け、両手が自由に使えるようにし、転倒対策をしっかりとって外出しましょう。

空き家の除雪が行われず、危険な状態になっている場合には、法律の定めに基づき市町村長の判断で雪下ろしを行うことが可能です。お困りの際は市町村に問い合わせ下さい。

気象庁が提供している「今後の雪（降雪短時間予報）」では、1時間毎に推定した現在の積雪の深さと降雪量の分布、6時間先までの予測が確認できます。

防災グッズを見直しておく
交通機関が乱れると、周辺のお店の物流がマヒしてしまう可能性があります。また停電が発生してしまうと、復旧まで時間がかかるため、普段から防災グッズを備蓄しておきましょう。最低3日分、余裕を持って1週間分の食料や飲料が準備できると安心です。

運転中に大雪に見舞われた時の為に
車内に防寒着や除雪用スコップ、タイヤチェーンなどの装備をしておきましょう。

一酸化炭素中毒を避けるためにエンジンを切りましょう。その時に毛布に使い捨てカイロ、寝袋などがあれば、車内が氷点下になってもなんとかやり過ごせますが、ダウンを着るぐらいでは到底耐えられません。

非常食以外にも非常用トイレセット、防寒着や毛布・アルミシートなどの寒さ対策、雪害情報を確認するためのスマホの充電器や簡易電源の用意もおすすめです。




雪道での徐行運転と急ハンドルも危険

災害用伝言サービス 録音時間：30秒（10件まで）（「NTT東日本災害への取り組み」より）

伝言ダイヤル 171	171をおし、録音は「1」、再生は「2」、音声ガイドに従い予めお互いで決めた電話番号を入力すると、伝言の録音・再生ができます。
災害用伝言板 (web171)	ネットでweb171にアクセスし、予めお互いで決めた電話番号と伝言を入力します。この電話番号全国（国内外）から伝言の確認や追加をすることができます。また、伝言ダイヤル171に登録されたメッセージを確認することもできます。
171 体験利用提供日	毎月1日と15日（00時00分～24時00分）、正月3が日（00時00分～24時00分） 防災週間（00時00分～24時00分）、 防災とボランティア週間（1月15日9時00分～1月21日17時00分）

【土屋防災委員会】の

 をフォロー
お願いします！

 アカウント登録
をして、防災に
関する様々な
情報をGET!!